



YOKOHAMA
CITY
UNIVERSITY

横浜市立大学

医学部 看護学科／医学研究科 看護学専攻
YCU 看護キャリア開発支援センター 看護共創部門

地域貢献活動の紹介

2024 年度



伝統と革新の、その先へ
1928 - 2028

目次

看護生命科学	1
基礎看護学	2
看護管理学	3
成人看護学	4
先端成人看護学	5
小児看護学	6
母性看護学	7
老年看護学	8
精神看護学	9
地域看護学	10

看護生命科学領域

【地域・社会貢献プロジェクト】

1) メディカルフェスティバルでのお肌の測定会

【日時】2024年11月16日(土)～17日(日)10:00～16:00

【場所】横浜市立大学 福浦キャンパス 看護教育研究棟 308教室

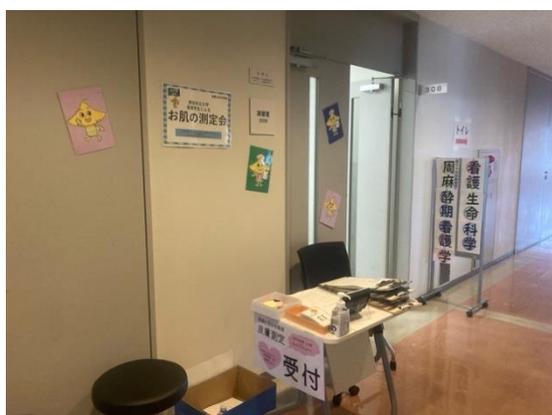
【人数】300名以上

【企画・実施者】看護生命科学領域

【活動概要】

看護生命科学領域では、皮膚測定を通して、地域の方々の健康意識やニーズを把握し、健康の維持・向上に繋がるような健康サポート活動を行っています。

今回、メディカルフェスティバルにて「お肌の測定会」を行いました。子供からご高齢の方まで多くの方にご参加いただきました。皮膚の測定では、水分量・皮脂量・コラーゲンの量を測定し、皮膚に関する悩みや日々のスキンケアの状況を伺い、スキンケア方法の振り返りを参加者と一緒に行いました。



<受付の風景>



<皮膚測定会の様子>

2) ママのがん検診応援プロジェクト皮膚測定会

【日時】2024年12月16日(月)10:00～12:00

【場所】Kosugi 3rd Avenue (武蔵小杉イベントスペース KOSUGI1)

【人数】30名

【企画・実施者】看護生命科学領域、一般社団法人シュフレ協会

【活動概要】

一般社団法人シュフレ協会主催の「ママのがん検診応援プロジェクト」にて皮膚測定会を実施しました。お子さんとお母さんを対象に、皮膚の水分量・皮脂量・コラーゲン量を測定し、小児期のアレルギーマーチについて情報提供を行ったり、お子さんのスキンケアの振り返りを行いました。



<お子さんの皮膚測定の様子>



<お母さんの皮膚測定の様子>

基礎看護学領域

【看護の未来プロジェクト】【キャリア支援プロジェクト】

エクステンション講座：オープンクラス「大学で看護を学ぼう！」(合計4回)

①③ ～模擬授業に参加してみよう～

②④ ～ワークショップに参加しよう～

【日時】 模擬授業：①2024年8月2日(金) 13:30-15:00、③2025年1月24日(金) 17:00-18:30

ワークショップ：②2024年8月9日(金) 15:00-17:00、④2025年3月8日(土) 14:00-16:00

【場所】 横浜市立大学看護教育研究棟 504 演習室①③

みなとみらいサテライトキャンパス&オンライン(ハイブリッド) ②④

【対象】 中学生・高校生

【参加人数】 ①36名、②25名

【企画・実施】 教員6名、学生ボランティア11名(3年生:8名、1年生:3名)

【活動概要】 模擬授業では「滅菌手袋の着用(①8月)」「血圧測定(③1月)」を実施した。中高生のみなさんからは「実技の授業は初めてで面白かった」「本当の授業みたいで楽しかった」などの感想があった。

ワークショップでは、『未来へ繋ごう「看護」のバトン』をテーマに、看護職・看護教員・看護学生・中高生の混合グループでワールドカフェを実施し、看護の魅力を話題に大いに盛り上がった。

いずれの講座でも、大学での生活や学習の様子、受験勉強のコツなど、中高生からの質問が尽きず、終了後にも学生ボランティアと和気藹々と交流する様子が見られた。



【地域・社会貢献プロジェクト】【看護の未来プロジェクト】

子どもアドベンチャーカレッジ

【日時】 2024年8月8日(水) 13:00-15:00

【場所】 横浜市立大学看護教育研究棟 305 講義室、504・505 演習室

【対象】 横浜市在住・在学の小学3～6年生

【参加人数】 27名(保護者26名)

【企画・実施】 教職員8名、附属2病院看護師3名、学生ボランティア19名(3年生) <横浜市協賛>

【活動概要】 学生ボランティアと教員が協同して、心音の聴取、滅菌手袋の装着、点滴の滴下調整の3種類の技術それぞれについて、小学生と一緒に楽しく体験できるイベントを企画・運営した。小学生のみなさんからは、「滅菌手袋の装着は難しかったけれど、看護師の仕事を詳しく学べて嬉しかった」「点滴のスピードを調整するのが楽しかった」「心臓の音が聴診器をあてる場所によって違うのが面白いと思った」「看護体験をまたやりたい。学生さんや看護師さんの体験談が聞けて良かった」などの感想があった。また、保護者の方々からも点滴や手袋、聴診器どれも見ていただけだと簡単そうだけれど、コツが必要で難しいことが知れただけでもよい学びになった」などの声をいただいた。企画全体に対して、「とても満足」が85%、「満足」が15%と高い評価であった。



看護管理学領域

【研究支援プロジェクト（研究コンサルト・相談）】

- ・横浜市立大学市民総合医療センター 研究支援

【看護の未来プロジェクト（次世代育成）】

- ・2 附属病院合同次世代看護管理者教育Ⅱ、Ⅲ

【地域・社会貢献プロジェクト】

- ・長津田厚生総合病院、横浜市立大学国際総合科学研究科、甲南大学、兵庫県立大学：
「病院組織の中での対話を支援するファシリテーターの育成」

地域包括ケアを支える地域の中小規模病院の対話型組織開発(2021 年度から)

- ・中小規模病院ネットワーク事業（不定期）
- ・茅ヶ崎市民病院地域医療支援委員（2024 年 4 月～現在まで）
- ・神奈川県看護協会副会長（財務委員、学会運営委員長）
- ・大学設置・学校法人審議会（大学設置分科会）設置計画履行状況等調査委員会委員
- ・厚労省医道審議会・看護倫理部会 再教育講師

<学会などの研究会の企画・運営>

- ・看護経済・政策研究学会理事長.
- ・日本医療・病院管理学会理事（連携推進委員長）

第 430 回日本医療・病院管理学会（看護経済政策研究学会共催）研究会（企画運営）

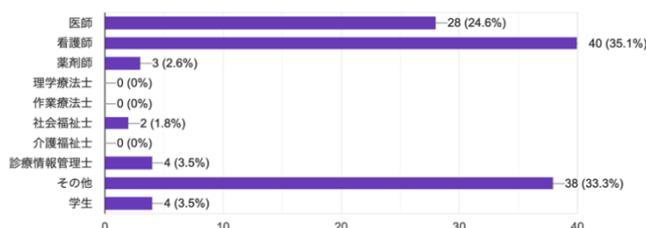
「テーマ：AI 時代の医療における意思決定を倫理の視点で考える」

日時：2025 年 1 月 14 日(火)14：30～16：30

参加者：135 名

職種を選択してください

114 件の回答



- ・第 228 回東海病院管理研究会（第 54 回看護経済・政策研究学会共催）（企画運営）
「身体拘束最小化の体制整備と倫理—組織倫理、判例と現場の実践例をもとに対話」
日時：2025 年 3 月 8 日（土）14：00—17：00

<民間・企業・団体などとの連携>

- ・認定 NPO 法人ささえあい医療人権センターCOML（理事）
「医療をささえる市民養成講座（アドバンスコース）」において模擬審議会の実施
「医療をささえる市民養成講座（ベーシックコース）」電話相談ボランティア

【実践能力向上・リカレント教育】

- ・大学院授業公開（看護管理学、看護倫理学を対象講義とした）
- ・「YCU 病院経営・政策プログラム事業」の対象科目として看護管理学を公開
（医療事務の方の受講あり）

【キャリア支援プロジェクト】

- ・学部生の大学院学内推薦制度の検討（看護学専攻入試運営部会）2025 年に開始予定
- ・オープン・ラボの企画・運営（看護学専攻入試運営部会）4 月実施、
博士前期課程 25 名（1 期入試のみ）、博士後期課程 6 名と定員を満たした
- ・国際看護学 1 のクラスで学生のキャリア形成を支援する特別講師の配置
西原美佳氏（海外で学位取得、国際機関での経験）、世古由香里氏（Toronto Metropolitan University, Professional Communication 准教授）、https://www.yokohama-cu.ac.jp/nur/news/20240701intl_nursing1.html 福島朋子氏（オンタリオ州看護協会理事、プライマリーヘルスケア NP）
https://www.yokohama-cu.ac.jp/nur/news/20250121intl_nursing1.html
- ・留学中の附属病院の元看護師の生活、仕事支援・イギリスの大学院に留学する卒業生の推薦書の作成

成人看護学領域

【地域・社会貢献プロジェクト】

テーマ：Online Global Health Program in Nursing 2024 ハサヌディン大学と国際交流

【日時】2024年8月8日(木)9-13時

【会場】zoomにてオンライン

【参加者】横浜市立大学看護学科学生 19名:3年生(3名)2年生(6名)1年生(10名)

ハサヌディン大学看護学科・理学療法学科の学生 20名:

看護学生 15名 2年生(2名)3年生(11名)4年生(2名) 理学療法学生 5名

【企画目的】インドネシアのハサヌディン大学と日本の横浜市立大学との間でオンライン国際医療交流を実施する。事前の学習を踏まえ、インドネシアと日本の医療の相違点と類似点について議論し、国際保健と国際保健の課題の枠組みについて理解を深める。また、異なる文化を持つ医学生との交流を通じて、インドネシアと日本の社会・文化の違いを理解する。

【実施内容・当日の様子】

1.自己紹介：5つのグループに分かれて、本校の学生はスライドを用いながら自己紹介を行った。グループ内では、互いにニックネームで呼び合い、笑顔でフリートークをする姿が見られた。



2.各国の発表：各国の観光・文化・医療・日常生活・看護教育をテーマとし、事前に作成したスライドを用いて全体で発表を行った。スライドには、写真が多く用いられており複雑な内容についても相互理解を深めることができた。発表中も zoom のチャットにて、お互いに考えたことをリアルタイムで投稿し、活発に返信するなど盛り上がりを見せた。

りを見せた。



3.ディスカッション：5つのグループに分かれて、各国の発表に対して印象に残ったことを話し合った。学生は、自国との疾病構造の違いやケア方法、医療システムの違いなど初めて知ることが多く、興味深く質問をする姿が見られた。

4.特別講義：「Diabetes and Food care」 by Prof. Nakagami Gojiro(Tokyo University)

「Herbal Approach in Preventing Diabetes Complication:Current Insights and Future

Directions」 by Dr.Andina Setyawati(Hasanudin University)日本とインドネシアより特別講師を各1名ずつ招請し講義を行った。難しい内容も真剣に耳を傾け質問も積極的に行われた。

先端成人看護学領域

【教育支援プロジェクト】

●**教育者**：○日時：2025年3月24-25日、○場所：横浜市立大学附属病院、○人数：7名、○企画・実施者：遠藤格（附属病院院長）・鈴木久美子（看護部長）・千葉由美・他、○活動概要：国立台湾大学の摂食嚥下障害医療・看護に関する病院臨床研修の受け入れ調整、ならびに研修の実施。

【キャリア支援プロジェクト】

●**国際交流**：○日時：2025年3月5日～13日、○場所：テンプル大学、ペンシルバニア大学、○人数3名、○企画・実施者：千葉由美・Yoshiya Toyoda（テンプル大学心臓血管外科教授）・Maria Molina（ペンシルバニア大学循環器内科外科病棟 DNP）・他、○活動概要：テンプル大学附属病院の手術室・ICU、ペンシルバニア大学ICU。先端成人看護学の学部ゼミ生を中心とした心臓血管外科のハイボリュームセンター（米国・特定機能病院）での研修を企画・引率。

●**アドバンストエクステンション講座**：○日時：2024年11月19日1330-1640、○場所：横浜市立大学看護研究棟、○企画・実施者：千葉由美・村上照美（附属病院リハビリテーション部 ST）：「摂食嚥下障害患者への臨床的アプローチの実際」講座。*日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士の研修20単位取得可。

●学会等事業への参画

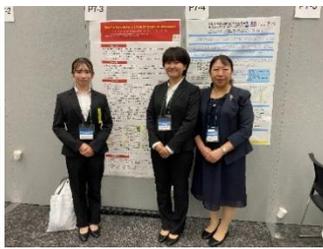
○日時：2024年9月13日1630-1730、○場所：長崎、○企画・実施者：Yumi Chiba, Yuna Tanowaki, Chinatsu Ukai, Chino Ogawa, Yui Tanaka（演者 N3）, Sakura Ohishi、○活動概要：The 60th Annual Congress of the Japanese Society of Transplantation、Poster session（English）にて、看護学科生他、自主的活動「ハート研究会」のメンバーが Report on the activities of a volunteer group of nursing students を発表。発表原稿の内容確認やプレゼンテーション等を指導。

○日時：2024年8月30日、○場所：福岡、○企画・実施者：Xiangxiang Liu（筆頭演者 M2）, Yumi Chiba, et al.○活動内容：第30回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会 English session にて博士前期課程研究の一部である Academic trends regarding dysphagia and muscle mass を英語で口頭発表を実施、原稿内容の確認やプレゼンテーション等を指導。

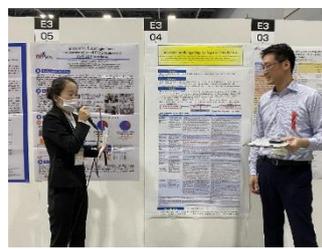
○日時：2024年10月20日、○場所：札幌、○企画・実施者：田邊渉（筆頭演者2023年度修了生）、千葉由美、○活動内容：第38回日本手術看護学会年次大会にて、博士前期課程研究の一部分として手術室器械出し看護師のノンテクニカルスキルとその関連要因を学会発表・指導。



アドバンスト
エクステンション講座



本学学部生の学会発表
（日本移植学会）



本領域大学院生の学会発表

（左:日本摂食嚥下リハビリテーション学会）
（右:日本手術看護学会）



小児看護学領域

【地域・社会貢献プロジェクト】

エクステンション講座「外食で好きなものを安心して食べるためには ～食物アレルギーって何？みんなの“はてな？”も一緒に考えよう～」開催

【日時】 2024年8月24日（土） 10:00～12:00

【対象】 小学生・中学生

【参加人数】 小学校4年生～中学2年生親子8組 16人

【企画・実施者】 小児看護学講師 橋本美穂／なのはなキッチン・管理栄養士 富山彩

【活動概要】 食物アレルギーのある小中学生が外食するときの“はてな？”を持ち寄り、講師と親子が一緒に考える、食物アレルギーの学習会を開催しました。また、管理栄養士とともに、ゲームを通して安心して食べる工夫について考える企画を実施しました。



【キャリア支援プロジェクト】

ハワイ大学との国際交流

【日時】 3月3日～5日

【対象】 看護学教員、大学生、大学院生、医師・看護職員

【企画・実施者】 小児看護学

【講演・演習参加人数】 講演47名 演習21名

【活動概要】 Dr. Lorrie Wong（ハワイ大学 University of Hawaii at Mānoa School of Nursing and Dental Hygiene 副学部長）による「シミュレーション教育が拓く看護の未来」の講演、Ms. Dana Ing（ハワイ大学 Translational Health Science Simulation Center 副センター長）による、国際看護学演習IIの履修生7名への臨床判断能力を高めるシミュレーショントレーニングを実施した。また、附属病院、市民総合医療センターの見学を実施し、本学の医療・看護の教育・実践に関する意見交換を通して、相互理解を深めることができた。



母性看護学領域

【地域・社会貢献プロジェクト】

学生ボランティア支援・学生参画イベント

1) 「HUG Your Baby」 クラス開催

【日時】 2024年9月7日(金) 13:30~15:00

【場所】 横浜市立大学 福浦キャンパス 看護教育研究棟 205教室

【人数】 妊娠中の方およびご家族5組9名、子育て中の先輩ママパパ2組3名

【企画・実施者】 母性看護学分野1年次2名、助産学分野2年次2名

【活動概要】 クラス構成を講義・演習・交流会の3部構成とし、参加型の内容を多く取り入れた。今年度は土曜日開催としたことで、夫婦での参加が多く、参加者間で積極的に交流する様子が見られた。また参加者アンケートの結果、クラス全体の満足度は高かった。



2) 小学校出前授業「いのちの授業」開催

【日時】 (フィリピン) 2024年8月27日(火) 9:00~11:00

(国内) ①2024年9月13日(金) 8:45~12:00、②2025年2月19日(水) 8:45~12:00

【場所】 (フィリピン) A Montes 2 Elementary School

(国内) 横浜市立並木中央小学校、東京都大田区立徳持小学校5年生児童

【人数】 (フィリピン・国内) 各小学校に在籍する高学年児童30~100名および教員・保護者等

【企画・実施者】 (フィリピン) 看護学科2年生フィリピンFW 参加メンバー15名

(国内) 看護学科いのちの授業グループメンバー17名

【活動概要】 今年度新たな試みとして、国内だけでなく、フィリピンの小学校でもいのちの授業を実施した。クラス構成は、講義と演習の2部構成とし、妊婦体験や脈拍・心拍測定など参加体験型の学習が活発に行われた。参加した児童からは「子育ての大変さがわかり、親に感謝したい」、「自分が生まれてきたことは奇跡だということがわかった」などの感想があった。



老年看護学領域

【研究支援プロジェクト】【地域・社会貢献プロジェクト】

1) 「とつか子育て支援フェスティバル～親子でわくわく、健康イキイキ～」

【開催日時】令和6年11月17日(日) トークショー 10:30～11:30／展示・スタンプラリー 10:00～13:00

【開催場所】戸塚区民文化センター さくらプラザ

【参加人数】317名

【企画・実施者】叶谷由佳、南崎真綾、河野敬、三浦武

【活動概要】

(1) トークショー

親子で楽しむ育児のススメをテーマに3つのテーマ（①これまでの子育て経験から感じた楽しさ・難しさ、②子育ての工夫や周囲からのサポート、③将来欲しいこんなサービスやあんなサポート）によるトークショーを開催した。登壇者には、つるの剛士さんをはじめ本学の研究者や地域の子育て支援サービスの提供者をお招きし、子育ての悩み、課題解決策についてのヒントに関するトークが展開された。

(2) ギャラリー展示・スタンプラリー

横浜市の企業や行政による子育て支援サービス、介護支援に関する情報共有、研究機関における研究成果の報告を実施した。こども向けブースには、工作ワークショップ・記念写真撮影会を実施。大人向けブースには、上記の明日からの子育てに役立つ情報の紹介を実施した。



【看護の未来プロジェクト】【キャリア支援プロジェクト】

2) 「横浜市訪問看護師人材育成プログラムの構築」

【開催日時】令和6年6月14日、令和7年1月23日

【開催場所】横浜市立大学

【参加人数】11名（横浜市医療局2名、横浜市在宅看護協議会1名、エルゼビア2名、横浜市大老年看護学領域教員6名）

【企画・実施者】叶谷由佳、金田明子、綱嶋里枝子

【活動概要】

2018年度からの継続的プロジェクトであり、行政や訪問看護協議会・民間企業と連携し、訪問看護師の育成に向けて取り組んでいる。2023年までに、訪問看護実践に必要とされる能力の明確化として実態調査を実施し、訪問看護師のキャリアラダーの開発、訪問看護師の実践力を高める病院連携による研修システムの構築、訪問看護事業所管理者・精神/小児訪問看護師向けラダーの開発に取り組んできた。2024年度に受託した業務は、下記内容である。

(1) 横浜市訪問看護師人材育成プログラムにおける学習対照表の作成

(2) 作成した学習対照表の見直し・更新

(3) 横浜市訪問看護師人材育成プログラムの修正・更新

なお、本プログラムの活用状況の調査結果の共有・意見交換を上記開催日に行い、訪問看護師の育成に関する活発な議論の場を設けた。



精神看護学領域

【教育支援プロジェクト】

・キャリア形成看護学実習ベーシックⅢ

【開催日時】 2024年4月5日～1月22日

【開催場所】 横浜市立大学（附属2病院含む）

【参加人数】 100名

【企画・実施者】 代表：山田典子、担当：精神看護学

【活動概要】

本実習では、看護専門職に必要な知識・技術・態度を学び、病院や地域での実践を通じて理解を深めた。3年次は領域別・夜間帯実習を実施し、具体的なキャリア設計を行った。段階的な学修を重ね、主体的に課題を見出す力を養った。



（夜勤実習のまとめ - 学内での発表の様子）

【キャリア支援プロジェクト】

・さくらサイエンス

インドネシアと日本の災害支援における交流-ICTを活用した被災地のメンタルヘルス支援-

【開催日時】 2024年12月23日～2025年1月23日

【開催場所】 横浜市立大学（附属2病院含む）横浜市南・中区、本所防災館、浅草

【参加人数】 ハサヌディン大学学生7名 教員1名

【企画・実施者】 代表：山田典子、担当：精神看護学、グローバル都市協力研究センター

【活動概要】

本プログラムでは、インドネシア・ハサヌディン大学の学生とICTを活用した被災地のメンタルヘルス支援を学んだ。講義や演習を通じ、日本の医療制度やPFAを理解し、横浜市の医療機関で防災対策を調査。本所防災館や浅草での体験を通じ、災害対応への理解を深めた。グループワークでは、日・インドネシアの災害医療の違いを議論し、国際協力の可能性を探った。



（横浜市立大学附属市民総合医療センター
Doctor car 前にて）

【実践能力向上・リカレント教育】

・大学院授業公開（精神看護学特講Ⅳ・演習Ⅰの一部）

地域看護学領域



キャリア支援プロジェクト（教育支援プロジェクト・看護の未来プロジェクト）

- ・看護職と学生の交流を促進するワークショップ：
「WORKSHOP かながわの保健師活動の未来構想
～15年後の保健師活動を語ろう～」

【日時】2024年8月4日（日） 14:00-16:00

【場所】横浜市立大学みなとみらいサテライトキャンパス

【人数】42名：神奈川県内の保健師・看護師を目指す学生、若手保健師、保健師（現役・退職者）、大学教員

【企画・実施者】地域看護学領域、神奈川県立保健福祉大学教員
民間財団保健師、（共催）かながわこども虐待予防研究会

【概要】新任期・若手保健師や保健師課程学生を含む世代の異なる保健師間でのディスカッション（Future design workshop）を通して、参加者の将来の希望や価値観を明確化するため未来イメージセッション（情報提供：2040年の未来、かながわのこども虐待予防30年）、グループワーク、発表を行った。

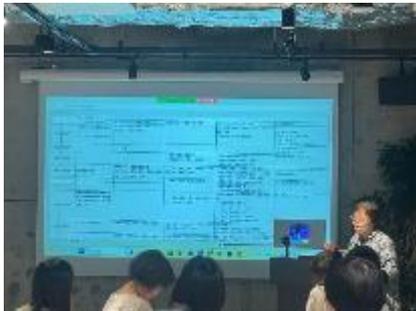
WORKSHOP
かながわの保健師活動の未来構想
～15年後の未来の保健師活動を語ろう～
2024.8.4 Sun 14:00～16:00 (13:30開場)

対象：神奈川県内の保健師（主に新任期）
保健師を目指す看護学生
聴衆 35名（先着順）
オンライン35名

今回のテーマは
母子保健
未来のイメージセッション
グループディスカッションを行います

申込みフォーム
<https://x.gsl.kanri.jp>

主催：横浜市立大学看護学領域地域看護学教室
協賛：横浜市立大学



報告時の写真使用について許可を得て撮影し掲載した



地域・社会貢献プロジェクト

- ・あしたタウンプロジェクト
（終活講座・健康講座・金沢シーサイド保健室）
【日時】毎月2回（各教室1回）、1.5時間程度
【場所】あしたタウンラボ（金沢区並木シーサイドタウン）
【人数】一般市民 各回5～10名程度
【企画・実施者】地域看護学領域教員5名
横浜住宅供給公社・パルシステム神奈川など
【活動概要】

終活講座・健康講座では壮年期から高齢者住民を対象に、健康長寿に向けた自身の健康管理や生活習慣の改善、趣味や生きがいに関する多岐にわたるテーマを設定し、講座を行った。

保健室では、健康や生活に悩みを抱える住民たちが訪れ、各々の悩みに寄り添いながらアドバイスや関連する講座の紹介を行い、適切な機関につなげている。

- ・金沢区地域ケアネットワーク勉強会の開催

【日時】2024年7月26日（金）、19:00～20:30

【場所】横浜市立大学八景キャンパス YCU スクエア

【人数】23名 金沢区内の医療機関に所属する専門職（看護職ほか多職種）

【企画・実施者】地域ネットワーク役員5名（地域看護学領域教員1名含む）

【活動概要】金沢区におけるケアの実践・教育・研究・管理の質の向上と、職種間の親睦を目的に、2019年に地域ケアネットワークを立ち上げた。毎年1回の勉強会を開催しており、今年度は、療養者の意思決定支援における課題について、金沢区内の医療機関に所属する専門職（看護師、介護支援専門員等）及び、地域看護学教室の教室員（教員・院生・学部生）にて、ディスカッションを行った。

まちの保健室・講座/居場所:2014年度～継続中 延350回以上/10年

2022年・2023年2月にはYCUエクステンション講座として出張講座を開催

団地集会所で 公園で 畑で

学校・大学で 企業等で 商業施設で

金沢区並木地区
あしたタウンラボ
（商店街にある
地域拠点）